

第18回 TAMAとことん討論会

TAMAとことんリレー討論会

～地域発 多摩のごみ～

多摩地域のごみ問題を
テーマにしながら
さまざまな切り口で開催してきた
TAMAとことん討論会。
今回は「**リレー討論**」として
3会場で開催します。
開催地の特色が出るような
企画が盛りだくさん。
ぜひご参加ください。



◆ 日時と会場

1月22日(土) ごみダイエットと
リバウンド

時間：13時～17時（開場12時30分）

西東京市 コール田無 多目的ホール

（後援 西東京市）

1月30日(日) 東村山のごみ問題と
再生資源業界の現状

時間：13時～17時（開場12時30分）

東村山市 市民センター 2階会議室

（共催 社団法人 東京都リサイクル事業協会

後援 東村山市）

2月27日(日) “容器包装お返し作戦”
を考える

時間：13時～17時（開場12時30分）

日野市役所本庁舎 505会議室

（共催 日野市）

◆ 三会場共通

参加費：無料

ただし当日の資料が必要な方は会場ごとに500円

報告書（3会場分まとめて一冊）500円

※ご希望の方は会場でお申し込みください。

後日郵送します。

参加方法：直接会場においでください。

事前申込は不要です。

お願い

- 各会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 公共交通機関をご利用ください
- ごみの持ち帰りをお願いします。

主催 第18回TAMAとことん討論会実行委員会
（特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦
財団法人 東京市町村自治調査会多摩交流センター）
後援 東京都・東京都市長会・東京都町村会（予定含む）

問合せ 実行委員会事務局

TEL 090-3818-7006 FAX 042-357-4554

H P www.renpou.org E-mail tokoton@renpou.org

各会場の内容

(敬称略)

◆西東京市会場『ごみダイエットとリバウンド』（後援：西東京市）

日時：1月22日(土) 13時～17時

会場：コール田無 多目的ホール

西東京市田無町3-7-2 田無駅より徒歩約7分

西東京市が家庭ごみ有料化後3年で燃えるごみの20%のダイエットに成功したことを事例にしながら、リバウンドの防止や新たなごみ減量について参加者全員で考えます。

●基調講演

「ごみを出さない暮らしのすすめ」 金子由紀子(エッセイスト)

●話題提供

「成功したダイエットをリバウンドさせないために」

池田 干城(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

「西東京市のごみ減量の成功のポイントと、ごみの組成から見た今後の対策」

三村 元彦(西東京市ごみ減量推進課 統括技能長)

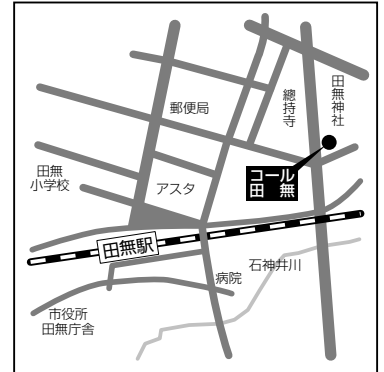
「ごみを出さない暮らしの提案(生ごみ、レジ袋、資源物、剪定枝など)」

金成ハツエ(ジャガイモの会)

●ディスカッション

「今後一層のダイエットをするための、次の手は？」

コーディネーター 宮崎 啓子(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)



◆東村山市会場『東村山のごみ問題と再生資源業界の現状』（共催：社団法人 東京都リサイクル事業協会 後援：東村山市）

日時：1月30日(日) 13時～17時

会場：市民センター 2階会議室

東村山市本町1-1-1 東村山駅より徒歩12分

新しい施設が建設される時には将来的な仕組み作りについて議論するチャンスです。リサイクルセンターの建設が予定されている東村山市を事例にしながら、地域との連携、資源リサイクル事業の現状と今後について語り合しましょう。

●基調講演

「廃棄物中間処理施設のストックマネジメント」

西川文政(東村山市資源循環部長)

●事例発表Ⅰ「夢ハウスの活動」

秋本幸子(美住リサイクルショップ運営委員会副会長)

●事例発表Ⅱ「悪質な資源物の持ち去りの実態と対策」

吉浦高志(日本再生資源事業協同組合連合会理事)

●リレートーク&ディスカッション

「再生資源の現状」

<古紙> 上田雄健(東京都リサイクル事業協会会長)

<古繊維> 木村 誠(キムラセンイ代表取締役会長)

<リターナブルびん・ペットボトル> 戸部 昇(東京都リサイクル事業協会副会長)

<カレット> 菅沢和志(東京都リサイクル事業協会副会長)

コーディネーター 佐久間信一(ダイナックス都市環境研究所副所長)



◆日野市会場『“容器包装お返し作戦”を考える』（共催：日野市）

日時：2月27日(日) 13時～17時

会場：日野市役所本庁舎 505会議室

日野市神明1-12-1 日野駅より徒歩15分

日野市では、今年度からペットボトル、トレイ、プラスチックボトルの収集回数を減らし、できる限り買ったお店に返す「容器包装お返し作戦」を展開しています。この事例をもとに容器包装の行方や容器包装をめぐる3Rについて議論します。

●報告Ⅰ「容器包装お返し大作戦の効果について」

日野市環境共生部ごみゼロ推進課(報告者未定)

●報告Ⅱ「マイバック運動に始まる日野市民の取組みについて」

報告者 小野寺勲(日野市ごみ減量推進市民会議メンバー、

日野市廃棄物減量等推進審議会委員)

●報告Ⅲ「販売店の取組みについて」 報告者未定

●ディスカッション

「容器包装3Rをめぐる各主体の役割」

コーディネーター 鈴木直人(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

